

# 謹賀新年



荒尾市長  
前畑 淳浩

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

先月、昨年の世相を表す一文字として「新」が選ばれました。「新しいこと」に期待し、「希望」を抱きたいという願いであると思います。それを象徴する出来事として、本格的な政権交代がありました。今後本市を取り巻く状況がどのように変わろうとも、「元気で、明るい、住みよい荒尾づくり」という一点を目指し、最善を尽くす所存です。

さて、昨年の本市の「新」と申しますと、世界文化遺産暫定登録の旧万田坑施設が、本登録への第一関門である専門家委員会の提言書に、推

薦候補地として盛り込まれました。「荒尾の「宝」を世界の「宝」へ！」を合言葉に、本登録への機運を高めたいと考えております。

そのほか、東邦ホールディングス株式会社との水野北工業団地への立地協定締結や、荒尾商工会議所による「あらおよかよか元気券」の発売、荒尾の特産品を活かした創作菓子の詰め合わせ「荒尾かぶれ」の販売など、民間からの地域経済活性化へ向けてのアプローチもございました。

また、今年につきましては、春の旧万田坑施設の一般公開や、秋には14年振りの県民体育大会が開催される予定となっております。

これからも、この歩みを確かなものへとすべく「行財政改革」と「2030 あらお有明優都戦略」を柱とし、真の「豊かさ」を実感できるまちづくりに全力を傾注してまいりますので、皆様方より一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとりまして希望に満ちた、幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



荒尾市議会議長  
島田 稔

新年明けましておめでとうございます。すがすがしい新年を、ご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

荒尾市は「元気で明るい住み良い荒尾」を創造することを目指し、市民の皆様方との「協働のまちづくり」を掲げ、積極的に推進しております。

しかしながら、国内経済は一昨年9月のリーマンショックに端を発した世界的な金融不安の影響を受け、輸出の減少、企業部門の低迷、雇用環境の悪化など内需外需とも一段と景気が悪化することが懸念されております。

昨年11月には政府がデフレ宣言を行いました。消費者の購買力の低下、需要の減少、物価の下落、売り上げ減少、企業の収益悪化など、デフレスパイラルの現象です。

今こそ政府と日銀による抜本的な経済対策が求められています。

このような中であって、今日の地方分権改革の進展により、自治体の自立に向けた効率的、効果的な行財政運営をはじめ、地域産業の推進、少子高齢化社会に対応した社会福祉の充実、教育文化の振興、都市基盤の整備、さらには地球規模で深刻化する環境問題など、荒尾市のまちづくりに欠かすことのできない重要な課題が山積しております。

その為、私達市議会も今日の社会情勢を的確にとらえ、市議会の機能役割を十分に発揮するとともに、市民の皆様方のご意見、ご要望を拝聴し、今後のまちづくりにしっかりと反映できるよう、清新にして活力ある市議会を目指し議員一同、なお一層の努力を傾注してまいります。

どうか、本年も旧年に倍してのご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のままのご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。



楽しみながら「環境」について考えました  
～環境フェスタ2009～

11月29日(日)、文化センターで行われ、およそ1千800人が参加しました。地域の環境活動の展示や最新エコカーの展示、エコバッグ作りなどの体験コーナーなどほか、フリーマーケットやバザー、ステーション発表も行われ、賑わいました。

参加者は、環境への取り組みをさまざまな角度から知り、気軽に学ぶことができる催しを楽しんでいました。



←エコと地球の未来について、大人も子どもと一緒に考えました



BDF 菜の花プロジェクトで採れた菜種油で、カラシをてんぷらに。カラッとあつあつで、美味しかったよ！

競馬場で凧あげしたよ！

～第6回あらお凧あげ大会～

11月29日(日)、荒尾競馬場で、およそ200人が参加して行われました。

人間ダービーとアトラクションが行われた後、場内で親子連れなどが凧あげを楽しみました。また、荒尾第二中学校の生徒による連凧あげも行われました。

凧が少ない日で、凧あげには少し苦戦しましたが、参加者は手作り凧を手にのびのびと駆け、楽しいひとときを過ごしていました。



↑イラスト満載の凧をあげました



「荒尾二中平成二十二年三月閉校 響き合い ぶらんど」思いのこもった連凧

二小ミニバスケットボールチーム、  
二度目の全国・九州大会出場決定！

11月に第34回熊本県ミニバスケットボール大会(九州大会・全国大会予選)が行われました。大会で優勝を果たした荒尾二小男子バスケットボール部の6年生が、12月16日(水)に前畑市長を訪れ、優勝の報告をしました。

昨年度に続いて連覇という快挙を成し遂げ、今年も3月に東京で行われる全国大会に出場します。



↑左下から前田遠太さん、西山遼さん、高口壽将さん、古賀大成さん。左上から東伸一朗校長、右田尚久監督、前田遠介キャプテン、前畑市長。

「人権」について、考え学ぶ

～'09 荒尾市人権フェスティバル～

12月5日(土)、文化センターで開催され、およそ700人が参加しました。

人権問題に関するさまざまな作品展示のほか、歌やダンスのアトラクション、本田清悟さんによる講演、荒尾二小・平井小による活動発表、荒尾四中の生徒による演劇、インソングの猪俣浩介さんによるライブなどが行われました。



↑記者としての体験に基づく貴重なお話をいただいた本田さん



↑身近な人権問題を歌に載せて伝えてくださった猪俣さん

日頃から考え、学んだ大切なことを、親しみやすい演劇にして上演して下さった荒尾四中生↓

